

Q & A 集

〈大阪府レディースバドミントン連盟主催の**団体戦**での質問について〉

Q1 主審の回数を決めるじゃんけんは、負けたチームが主審を2回しないといけないのですか？

A1 じゃんけんに勝ったチームが、主審を1回するか、2回するかを選びます。

主審・線審は、自分のチームのプレーヤーの試合の審判をする時も「第三者である」という意識を持って公正な判定をする姿勢が必要です。

同じ理由で、線審の座る位置も決まっていますので、どちらの位置のイスに座っても構いません。

なお、主審・線審・得点係は、プレーヤーにアドバイスをすることが出来ません。

Q2 主審が自分のチームのプレーヤーに対して、サービスフォルトを注意しない時はどうしたら良いのですか？

A2 監督もしくはプレーヤーは、主審に対して 相手プレーヤーのサービスについて「フォルトでは無いでしょうか？」と質問することが出来ます。それに対応してもらえない時は、監督もしくはチームの方がレフェリーを呼んで下さい。
(本来は、主審が右手を挙げてレフェリーをコートに呼びます)

Q3 プレーヤーとそのパートナーによって連続して打たれた際、そのフォルトがわかりづらく、すぐに「フォルト」のコールが出来ないままラリーが終わりました。プレーが終わってからも「フォルト」をコール出来ますか？

A3 インプレー中に主審がフォルトを取らず終わったのでこのラリーは有効になります。従ってラリーが終わってからは「フォルト」のコールは出来ません。

はっきりと違反したかどうかわからない場合は、「フォルト」をコールすべきではなく、そのままゲームを進行させて下さい。(2020-2021 赤本p.119 2020 緑本p.91 公認審判員規程第4条第7項)

違反に気付いた場合は、「フォルト」とコールしてラリーを止めて下さい。ラリーが止まらなければ手を差し出すなどの合図でラリーを止めさせ、「フォルト」をコールして下さい。

☆主審をしていて問題が発生した時、自分で対処することが出来ない時は、

レフェリーをコートに呼んで下さい☆

(2020-2021 赤本p.118 2020 緑本p.91 公認審判員規程第4条第4項)

審判についてわからない所や疑問に思っている事などがありましたら、各ブロックの審判講習会、リーグ戦、個人戦などで、どんどん質問して下さい。